

高川小だより

令和7年(2025年)6月17日

発行者：校長

高川小HPはこちら➡



蒸し暑さとともに梅雨の時期がやってきました。つつい廊下を走ってしまって友だちとぶつかってしまうことのないように、慌てずゆったりと毎日を過ごせるといいですね。また、教室ではエアコンをつけると寒すぎると感じる人もいます。念のため羽織るものを持ってきたりして、体調管理をしっかりと梅雨を乗り切りましょう。

水泳の授業が始まりました

6月9日(月)より今年も水泳の学習が始まりました。それに先立って、5月22日(木)に6年生がプールの更衣室やトイレ、シャワー室や通路などを掃除してくれました。初めは1年近くの汚れで黒くなっていたプール周りがみるみるうちにきれいになっていきました。きれいになる様子を「気持ちいいなあ」「こんなにきれいになるんだ!」「ずっと掃除していたら、最初とどれくらい変わったかわからないな」など口にしながらいよいよと楽しくプール掃除をしてくれた6年生。

そんなきれいになったプールで、水泳学習初日の1,2年生がドキドキ・ワクワクの水泳の学習です。昼から雨予報の中、通称”地獄のシャワー“に悲鳴を上げ、水量の多いプールで安全に学習ができるためのルールなどを確認しながら水泳の学習をしました。



引き渡し訓練ありがとうございました

6月10日(火)に災害時などの保護者引き渡し訓練がありました。雨の中、たくさんの保護者の方々がお忙しい中、訓練にご参加いただき、ありがとうございました。南海トラフ巨大地震も想定し、学校で被災した子どもたちが安心・安全に保護者の元に引き渡しができるよう、子どもたちも気を引き締めて訓練に臨みました。今回は体育館が空調工事の関係で半面しか使えないため、子どもたちを教室に引き取りに来ていただきました。西下足室から靴や傘を持ったまま校舎に入り、西階段を上がって教室へ向かっていただき、東側の渡り廊下を通って帰っていただきました。大きな混乱もなく無事、引き渡しが完了しました。ご協力ありがとうございました。

お金の大切さと使い方

ご家庭では、お子さんのおこづかいについて、どんなルールを決めていますか？

- ①月ごとに定額制
- ②お手伝いをした時に定額制
- ③本や文房具やお菓子など、必要と思われるものについては、子どもから要望があればそのつど買うため、おこづかいは「なし」
- ④お年玉だけ
- ⑤その他

ご家庭によって、さまざまだと思います。定額制の場合、金額は何年生でどれくらいが妥当なのか？どのご家庭でも悩むところだと思います。

子どもたちだけで買い物に行ったり、おこづかいをもらっている人がもらっていない人にお菓子を買ってあげたり、お金がたりなかった人にお金を貸してあげたり。

学校では、子どもたちだけの買い物や、おごったりおごられたり、物やお金の貸し借りはしないように指導しています。これは最初は優しい気持ちでおごったり、貸したりしていても、後になってトラブルになることも多いからです。中には友だちの歓心を買うためにものを高額なものや何度にもわたってものを友だちにおごる、なんてこともあります。

各ご家庭でもお家の人子どもにお買い物を頼む以外に、子どもたちだけで買い物にいたり、おごり合いや、貸し借りはしないように、「なぜしてはいけないのか」とともに話ししていただけるとありがたいです。

「協働的な学び」とは？

今回は、「主体的・協働的な学び」のうち、「協働的な学び」についてお伝えします。

「協働」とは、異なる立場の人が共通の目的や目標に向かって対等な立場で協力し合いながら、それぞれの役割分担をしながら活動することを指します。これからの世の中では、「高川の人とだけ」「日本人とだけ」「同じ性別の人とだけ」「同じ自分と考えが同じ人とだけ」協力するのではなく、自分とは違う立場の人と一緒に活動することで、より自分の力を活かしたり、目標や目的に向かってそれぞれが力を出すことができる社会を目指していくことが大切になってきます。

授業で、「自分はこの方法がよいと思う」「自分は『主人公はこう考えている』と思う」と主体的に自分の考えをもっただけでは、他の人の意見を受け付けず、一面的な考えに陥ってしまうおそれがあります。「なるほど、自分とは違うけど、こんな考えもあるんだ」「この考えもなかなかいいな」と許容して学習を進めることを「協働的な学び」といいます。

そこで、各授業では複数名での意見交換や話し合い活動を行っています。初めはペアで、そして班ごとに、最後にクラス全体で、自分の意見と友だちの意見を出し合い、目標や目的を達成できるように学びを進めていきます。

また、班で新聞などを作る際に、「ぼくは絵が得意だからイラストを描くよ。〇〇くんは字が上手だから表題を書いてほしいな。」「じゃあ、〇〇さんは文章を考えるのが得意だから記事の下書きをお願い」自分が得意な面で役割を果たすことができるようになるといいですね。